

令和4年10月7日

# まちづくり委員会資料

公園等における若者文化施策等と連携した  
施設整備について

建設緑政局

## 1 背景と課題

公園緑地は、地球温暖化の防止や生物多様性の保全に寄与するとともに、市民生活にうるおいや安らぎをもたらし、健康増進や地域交流の場となるなど、緑の貴重なオープンスペースとして親しまれてきましたが、社会状況の変化に伴いその重要性がより一層高まるとともに、公園緑地を一層柔軟に使いこなすことが重要な観点であるとされています。

東京2020大会や本市をホームタウンとするプロスポーツチームの活躍などの影響により、公園の広場や河川敷などで、バスケットボールやスケートボードなど若者文化を構成するコンテンツを楽しむ人が増加していますが、騒音や利用マナーなどに課題があることから、市内の約1,200ある公園のうち、バスケットゴールのある公園が6か所、スケートボードパークのある公園が1か所と環境の整備は進んでいない状況です。



末長高之面公園【高津区】



大師河原公園【川崎区】

若者文化を構成するコンテンツとしては、様々な種目がありますが、特にバスケットやスケートボードができる環境整備については多数要望をいただいております。また、「第2期川崎市緑の実施計画」（令和4年3月策定）においても地域特性に応じた特色のある公園緑地の整備推進に向けて若者文化施策等と連携した施設整備を進めるとしています。

さらに、令和3年度に行った多摩川登戸河川敷や国道409号道路用地における賑わいの創出等に向けた実証実験においては、3x3バスケットコートを設置し、来園者にバスケットボールに親んでもらうとともに、好意的な意見をいただいております。河川敷や道路用地についても、管理者と調整しながら施設整備を検討する必要があります。

## 2 取組の進め方

### (1) 取組の方向性

- ① 地域の子どもや若者が日常的にスポーツに触れることができる場を公園の広場等に確保する
- ② 公園への設置要望が多く、過去の整備事例を踏まえた課題への対策を予測できるバスケットボール及びスケートボードから取り組む

### (2) 整備の進め方

- ① 公園の広場等のうち一定の広さがあり、既存の利用と共存できる場所を選定
- ② 予見に基づき選定した公園や河川敷等において数か月の期間にわたり施設を設置し、利用ニーズや騒音の影響などを確認



公園等における若者文化施策等と連携した施設整備を行う場合の施設整備の内容や規模、民間活力導入を含めた事業手法等の施設整備の考え方を整理

## 3 令和4年度の取組内容

### (1) 既存公園における取組

#### ア 整備に適した条件の整理

既存公園の設置事例や苦情等の実績から騒音に対する条件を抽出するなど、管理面積や隣接する住宅と距離が一定以上離れているといった施設整備に適した公園の条件を整理します。  
仮定の条件

- ① 管理面積2,000㎡以上
- ② 広場と隣接住宅との距離100m以上or高低差あり
- ③ 高架下、線路や幹線道路に隣接している
- ④ トイレがある

公園 13か所、河川敷 23か所

#### イ 条件を満たした公園における実証実験の実施

日常的に使用することができる常設の施設整備に向けて利用ニーズと設置条件を確認するため、バスケットボールとスケートボードを対象として、地元と調整の上、次のとおり実証実験を実施します。

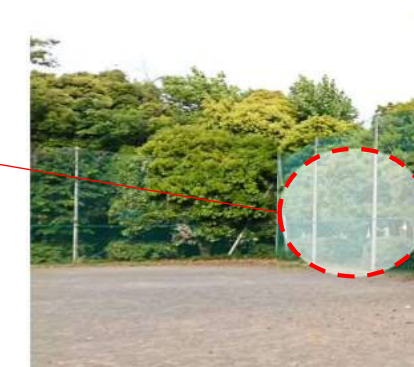
- ① 設置期間 令和4年10月～令和5年2月（5か月程度）
- ② 設置箇所 御幸公園（幸区）、鷺沼公園（宮前区）
- ③ 実験内容 バスケットゴールやスケートボードのアイテムを設置  
ニーズの把握に向けたスポーツパートナー等と連携した体験会の実施等
- ④ 検証内容 御幸公園 利用ニーズと設置条件（交通量の多い国道に隣接）  
鷺沼公園 利用ニーズと設置条件（線路沿い・駅周辺まちづくりと連携）

御幸公園【幸区】



設置箇所写真

鷺沼公園【宮前区】



設置箇所写真



## (2) その他の施設における取組

### ア 公園等と一体活用が期待できる道路用地における暫定利用

多摩川見晴らし公園・船着場及び国道409号道路用地については、拠点駅である川崎駅から徒歩圏内にあり、多摩川を活用したアクティビティやボール遊び、スケートボード等の新たな利活用等の可能性があることから、利用ニーズの確認と気運の醸成をするため、今後も次のとおり暫定利用を実施します。

- ①設置期間 令和4年12月～令和6年4月
- ②設置箇所 旧幸町交番隣接道路用地（幸区）
- ③暫定利用 バasketコート管理・運営
- ④検証内容 新たな利活用にかかるニーズの確認と気運の醸成



バスケット教室



バスケット体験

### イ 河川敷における実証実験の実施

地域と連携して市民や事業者による賑わいを創出し多くの人に利用してもらうことでマナー向上等を目指す取組を進めており、その取組の中でスケートボードやBMXを対象として、利用ニーズと設置条件を確認するため、次のとおり実証実験を実施します。

- ①設置期間 令和4年10月～11月頃（2か月程度）  
（令和4年8月 実施済）
- ②設置箇所 多摩川登戸河川敷（多摩区）
- ③実験内容 スケートボード・BMXのアイテムを設置  
ニーズの把握に向けた体験会の実施等
- ④検証内容 利用ニーズと設置条件（河川敷の場合）



スケートボード体験会



広場の舗装整備

### (3) 民間活力導入の検討

施設の拡充や施設管理の持続的な運営に向けた民間活力導入の可能性について、施設のアイディアや場所の条件、種目等を、PPPプラットフォームの意見交換会により確認しました。

意見交換会参加事業者 13社

主な意見：初心者層が安心して利用できる施設が少ない。スケボーパークが足りていない。施設の設えを競技に寄せると外から人が来る。商業的見地でどう公園の価値を上げていくかを考えている。

## (4) 事例調査や候補地の条件整理

他都市の整備事例等を踏まえ、庁内関係部署と連携し、候補地の条件整理を行います。



バスケットゴール【寒川町 寒川総合公園】



スケートボードパーク【横浜市 谷本公園】

令和4年度末

公園等における若者文化施策等と連携した施設整備の考え方について整理  
（施設整備の内容、規模、事業手法等）

## 4 スケジュール

その他の種目については、若者文化の認知度向上や、機運醸成が図られることによる、具体的な施設へのニーズの高まりなどを注視しながら取り組んでまいります。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
取組内容	<p>これらを踏まえ考え方を整理</p> <p><b>(1) 既存公園における取組</b></p> <p>グ事業者・現地ヒアリング 地元調整 実証実験（バスケットゴール等設置） 御幸公園、鷺沼公園</p>	<p>御幸公園、鷺沼公園の本格的な整備（予定）</p>	<p>全国都市緑化かわさきフェア</p> <p>整備の考え方に基づく取組</p>	<p>対象公園の拡大に向けた取組</p>
	<p><b>(2) その他施設における取組</b></p> <p>多摩川見晴らし公園及び道路用地における暫定利用</p> <p>多摩川登戸河川敷における実証実験 広場の舗装整備</p>	<p>整備の考え方に基づく取組</p> <p>多摩川見晴らし公園 多摩川登戸河川敷</p>		
	<p><b>(3) 民間活力導入の検討</b></p> <p>PPPプラットフォームの活用等</p>	<p>民間活力導入による取組</p>		
	<p><b>(4) 事例調査や候補地の条件整理</b></p> <p>施設整備の内容、規模、事業手法等検討</p>			

魅力ある公園緑地づくりに向けて関係する施策の取組と連携して取組を進めます。